

掲示板

研究会・研修会等への

報告者・講師の派遣

(平成30年4月～7月)

○「第二回例会」

主催 シャチの会(公益財団法人知床自然大学院大学設置財団)

とき 平成30年4月20日

テーマ 北海道農業の現状と課題

講演 飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

○「第一回学習会」

主催 石狩地域生ごみ資源化を

考える会

とき 平成30年5月7日

テーマ 北海道農業の今、そして

未来

講演 飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

○「中央アジア地域農民組織化

コース」

主催 JICA北海道

とき 平成30年5月17日

テーマ 日本の農業政策

講義 飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

○「中央アジア地域農民組織化

コース」

主催 JICA北海道

とき 平成30年5月21日

テーマ 北海道における農産物流

通の仕組み

講義 飯澤 理一郎

(当研究所・所長)

○「北大農学部農業経済学科移行生に対する講義」

○「第一二三回村づくり・人づくり

り春季報徳研修会」

主催 一般財団法人 北海道報

徳社

とき 平成30年5月31日

テーマ 報徳仕法の近代性・二宮

尊親と北海道開拓

講義 黒澤 不二男

(当研究所・顧問)

主 催 北海道大学農学部農業経

済学科

とき 平成30年6月14日

テーマ 北大農学部の移行生の皆

さんに伝えたい世界の食

料事情、貿易交渉、農政

改革、北海道農業のこと

講義 入江 千晴

(当研究所・営務理事)

人事異動

△退 職▽

特別研究員 上宗 辰美(7月5日付)

◆通常総会特別講演では、福島大学の生源寺教授から、「食と農の未来を考へる」と題してご講演いただいた。日本全体を俯瞰したこれまでの食と農の構造変化の実態をはじめ、北海道が有する価値や特質、そして、日本農業が伝承してきた本質的な価値について解説いただいた。

◆今年、北海道命名から一五〇年を迎える。江戸時代は蝦夷地と呼ばれていたが、日本の領土として明確にするために明治政府により一八六九年（明治二年）八月一五日に北海道と改め布告された。今ではその食や景観の魅力が国内外の人々を引きつけ、ブランドとも言えるネームバリューがある。

◆蝦名さんのエッセイ「地域で

DATA FILE

関連事項 / DATA

福島大学
〒960-1296
福島市金谷川1番地
☎ 024 (548) 8212

ホクレン農業協同組合連合会
〒060-8651
札幌市中央区北4条西1丁目3番地

北海道農政事務所
〒064-8518
札幌市中央区南22条西6丁目2-22
エムズ南22条第2、第3ビル

北海道岩見沢農業高等学校
〒068-0818
岩見沢市並木町1-5
☎ 0126 (22) 0130
Fax 0126 (22) 5362

紋別市役所
〒094-8707
紋別市幸町2丁目1番18号
☎ 0158 (24) 2111
Fax 0158 (24) 6925

一般社団法人 北海道地域農業研究所
〒060-0806
札幌市北区北6条西1丁目4番地2
ファーストプラザビル7階
☎ 011 (757) 0022
Fax 011 (757) 3111
HP : <http://www.chiikinouken.or.jp>
E-mail : office47@chiikinouken.or.jp

見つけた宝物」で紹介されているように、道内にいても気づかず見過ごしている魅力あるものは、まだまだたくさんあるはず。そんな宝物でどんどん北海道を盛り上げよう。

◆本号から新企画として「いきいき農業高校」をスタート。実践的な農業教育で次世代を担う

人材育成に取り組む道内農業高校を紹介し、第一回は岩見沢農業高校。花フェスタ二〇一八札幌のガーデニング甲子園でも見事大賞を受賞。スーパーサイエンスハイスクールの指定校にもなり、先進的なチャレンジや地域に密着した学習活動に活躍する姿に明るい未来を予感でき

(片岡 省二)

◆サッカーワールドカップは大いに盛り上がった。当初の下馬評に反し、ベテラン勢の見応えある活躍で寝不足を吹き飛ばす元気をいただいた。